

片山町内会報

発行日(2018年)
平成30年 2月10日
第27号

片山町内会新年祝賀会 (1月8日 14時～)



片山町内会新年祝賀会は、1月8日午後2時片山町内会館に於いて参加申込者数94名で開催され、齋藤辰夫副会長の司会で進行した。下総会長は、日頃町内会活動に協力・支援をいただいていることへの感謝を述べ、今年度から天神町(片山2丁目の一部)が解散し片山町内会に加入したことから町内会会員数が465名になったことを報告した。また、町内を取り巻く環境も桂桜高校が開校したり高速道路が空港まで延伸すること等を挙げ発展する可能性もあるが、少子高齢化・空き家の増加等で人口減少・過疎化が進み消滅する地方自治体が出るかもしれない懸念を述べ、積極的に町内会行事等への参加をいただき、交流を深めていきたい旨述べた。(お隣近所交流会補助金制度の積極的活用をお願いします)



新年餅つき大会

今年の餅つき大会は天気が良かったものの、参加者数は子供会父母含めて約22名(内子供13名)、他婦人部・町内会役員と昨年より少なめでした。

子供・父母・役員等交互に杵を持つ等の餅つき体験をした。初めて餅つきのあいどりを経験したお母さんも子供たちと上手く合わせていた。ついた餅は、子供・父母等でおしるこやきな粉餅にしてテーブルに並べられ、参加者全員で会食した。会食のいただきますとご馳走様は佐藤統哉君でした。参加した子供には図書券をプレゼントした。(餅米は例年同様下総ストア様の提供、感謝申し上げます。)



とうや
佐藤 統哉 君



消防避難訓練 (10月14日 9時～)

消防避難訓練を役員・事務員・婦人部合計14名の参加、消防署から4消防士の協力を得て実施、例年通り避難経路・消火器設置場所確認・消防署へ通報等、留意すべき事項の確認をした。火が出たら初期消火、絶対無理をせず、消防署へ通報し安全に避難する。万が一、衣服に火が燃え移った場合、近くに水道がある場合はいいが離れている場合は動くときで火が広がらず大やけどをする可能性が高いので、むやみに動かず(STOP)横になり(DROP)その場で顔を隠しながら転がる(ROLL)この方法はアメリカでは保育園児も全員わかる防災の基本だそうです。まだまだ寒く、暖房器具の使用で空気が乾燥しやすくなっているため自宅の火気に気を配り火事を起こさないよう気を付けていただきたい。



町内会旅行 (9月3～5日)

今回は約10年ぶりの2泊3日旅行、会員皆様に参加を募ったところ、男性16名・女性33名、計49名の希望者があり、バス2台に分乗し定刻6時30分町内会館を出発した。好天に恵まれ、車窓からの景色を楽しみながら初めの目的地石巻へ。大震災後の被災地を巡り復興の状況などをガイドから聞きながら「南浜つなぐ館」に到着、下に小さな文字で(東日本大震災メモリアル)と記していた。初めに「がんばろう!石巻」というタイトルの被災状況などの映像を大スクリーンで見る。その後、館内の写真や展示物等を見て複雑な心境で昼食会場「被災レストラン(石巻大飯店)」へ。

昼食後宿泊予定の「スパリゾートハワイアンズ(旧常磐ハワイ)」へ。館内はプール・様々な施設や店舗などがあり賑わっていた。増築を繰り返したことから通路は迷路状態、宿泊する部屋に至る通路の照明が消えていたのには困りました。夕食後、楽団の生演奏に合わせて踊るフラダンスや火踊りは見応えあり。観客を舞台に上げてフラダンスの体験など。

(二日目)朝食後館外で記念撮影、次の目的地「環境水族館アクアマリンふくしま」へ。水族館は二年前の「仙台うみの杜水族館」とは趣の違いもあり見応えあり。エレベーターで上部のガラス張り展望所から見る街並みや海の景色も格別。



昼食(アサヒビール園福島本宮店)後、次の目的地新潟県の北方文化博物館へ。博物館は、江戸中期、農より身を興し代を重ねて豪農の道を歩み、越後随一の大地主となった伊藤家。戦後の農地改革により土地は伊藤家の所有から離れたが、建物・庭・美術品を後世に残すため自らの財産を寄付し、財団法人北方文化博物館を創設したという。建物・展示物等を再度時間をかけてじっくり見たいものだ。宿泊は新発田市「ホテル泉慶」、広間貸切の宴会場では、カラオケや衣装持ち込みの有志による踊り、説明し難い踊りもあって場内は笑いの渦に巻き込まれた。

(三日目)新発田市の市島酒造「夢蔵」の古来から伝わる道具や所蔵品等展示物を見学。同酒蔵のお酒を買い求め次の目的地「村上市郷土資料館(おしゃぎり会館)」へ。会館には、地域の歴史に関する資料・豪華な夏祭りとして知られる村上大祭に用いられる神輿や華麗な屋台(シャギリ)等多数展示されており時間を忘れて見入ってしまうほど。その後、現地ガイドの案内で黒堺通りや浄念寺等を徒歩で見物。岩船港鮮魚センターで昼食、同所で買い物、その後日本海の景色を眺めながら北上し片山町内会館に午後8時頃全員無事に到着した。



山田碎石場視察 (2017.11.16)

片山町内会交付金会計収入源の一つである入会地「山田碎石場」の視察に行ってきました。入会地ということで権利者は、山田・川口・片山・沼館・市役所等々多数のため額はそれほど多くはありませんが貴重な収入源ではあります。今まで、大館能代空港までの高速道路延伸で碎石を多く必要としていたが、H29年度で工事が終了することから、来年度の碎石需要は減少する見込みとのこと。片山は他の収入源もあるので大きな影響を受ける心配はありません。今後どれぐらいの間採掘できるかとの問いには少なくとも30～40年程度は採掘出来る見通しとのこと。

桂桜高校裏排水問題についてのお知らせ

降雪直前、桂桜高校暗渠からの排水管工事及び土砂が流出した部分に特殊な土壌を積んで補修し工事は完了した。重機による作業で道は拡幅され、掘り返したことにより影響がでないか心配。工事完了後大雨がありその後の確認は降雪のためしていない。

学校側にある集水桝に取り付けられている金網に木の葉などが詰まり桝に入らない水が道路に流れ出ることの対策は持ち越しとなっており新たな被害が出ないかと。写真は設置完了直前の排水管出口周辺。前号に記載した倒木は工事に伴い撤去された。

